

令和7年4月号

シケルへ

～鹿部駐在所広報紙～



鹿部駐在

7-2861

鹿部駐在所が移転しました

先日、鹿部駐在所の開所式を実施しました。

鹿部駐在所の場所が宮浜346番地21に移転しました。

なお、活動及び体制については変更ありません。



自転車は 防犯登録と ツーロック



防犯登録は、
自転車販売店で！



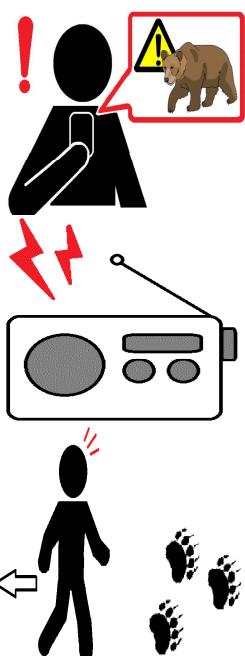
鹿部駐在所管内状況

鹿部町内で窃盗事案が発生しています！施錠を忘れずに！

不審者を見かけたらマニにカギかけ！
110番！

ヒグマによる人身被害の防止

- ヒグマの出没情報を確認しましょう。
- 入山する際は、熊よけの鈴などを鳴らし、複数で行動しましょう。
- 熊撃退スプレーを持つようにしましょう。
- 足跡などを見つけたら、すぐに引き返しましょう。
- 食べ物は必ず持ち帰りましょう。
- ヒグマを見たら、ゆっくり後ずさりしながら静かにその場を離れましょう。



森警察署協議会通信

令和7年2月発行
函館方面森警察署
(代表電話)
01374-2-0110



【協議会開催風景】

【警察署協議会とは？】

警察は、効果的な犯罪の予防活動や関係機関との連携を行うため、まず、住民の生の声を十分に理解しなければなりません。

そのため、警察署では地域の有識者にお願いをし、警察署協議会委員となっていただき、地域の安全に関する問題や警察署の活動について、署長以下の警察署幹部と協議を行う場を設けています。

森警察署では、毎回テーマを変えて、年度で計4回の開催を予定しております。

第4回 森警察署協議会開催結果

● 2月7日(金) 森警察署会議室にて開催(協議会委員4名、署員4名出席)

第4回警察署協議会テーマ 「特殊詐欺などについて」

(テーマ選定理由)

近年、SNSを悪用した様々な詐欺事件が発生しており、当署管内の森町や鹿部町の住民の方にも同様の手口の電話やメールが届いており、実際に金銭をだまし取られているケースも発生していることから、こうした実態を把握して頂くため、第四回目の協議会テーマを「特殊詐欺などについて」としました。

【警察署からの説明内容】

1 森警察署管内における詐欺発生状況

- 「SNS型投資詐欺・SNS型ロマンス詐欺」の発生状況の説明を行い、森町、鹿部町においても同様の手口の詐欺が発生し、被害も出ている状況について説明を実施した。

2 SNS型投資詐欺・SNS型ロマンス詐欺

- 発生認知状況、総被害額
投資詐欺：95件、19億4000万円
ロマンス詐欺：81件、8億9000万円
- 令和6年月別被害発生状況の説明

3 国際電話番号による特殊詐欺について

- +1や+44などから始まる国際電話番号からの詐欺被害が急増している状況にある。
- 海外との電話が不要な方は、発信・着信を無償で休止できる(固定電話・ひかり電話が対象)ため、被害防止の観点から申し込みの促進について説明を実施

※ 国際電話不取扱受付センター 0120-210-364

4 実際の詐欺グループからの音声通話

- NTTファイナンス総合料金センターを名乗る者からの実際の詐欺電話音声を視聴紹介
- 「クラウドサイト」の利用料金の「未納分」「解約金」「遅延損害金」「民事裁判弁護士費用」等の名目で、約30万円の料金を請求
- 被害者にコンビニでの電子決済をするよう言葉巧みに誘導を行う。

【協議会委員意見】 (テーマ：特殊詐欺被害防止に繋がる効果的な活動について)

【意見1】啓発要領の工夫

最近では、映画の上映前の予告や宣伝に詐欺被害防止の広報啓発動画が流れしており、多くの人が目にするものであることから効果を期待できると思われる。管内においてそうした多数の人が目にする場所や物に注目して啓発を行うことも効果が期待できるのではないか。

⇒ (警察署意見) 管内でのイベント開催時など、多くの人が集まるタイミングを逃さず広報啓発活動を展開する。

【意見2】広報チラシの効果的な配布

啓発チラシについても積極的に配付をするとともに、事業所などは多数の人間が出入りする場所でもあるため、積極的に協力を呼びかけ広報活動への協力を得ることが重要となる。

⇒ (警察署意見) 管内事業者へ理解と協力を求め、警察だけではなく地域全体で被害防止を図る活動を展開する。

【意見3】地域に関する被害についての情報提供

手口や被害について全国的なスケールで考えると情報が多すぎるため、最新の手口が森町・鹿部町で被害にあったケースなど、実際に身近で発生したものを情報提供した方が、管内の住民の方は耳を傾けやすい。

⇒ (警察署意見) 防犯メール等を活用し、管内で発生した被害をタイムリーに情報発信する。